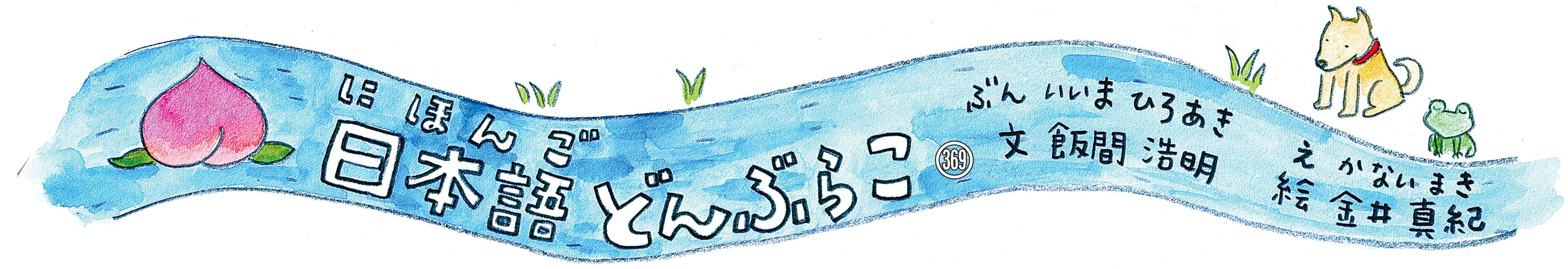


「鈴木オート」では何を売る？

なつかしい昭和時代の東京に暮らす人々をえがいた「ALWAYS　三丁目の夕日」という映画があります。主人公の少年の家には「鈴木オート」という看板がかかげられています。何の仕事か、分かりますか。

「オート」と言うからにはオートバイを売っているのか。そうではありません。映画の「鈴木オート」は自動車修理業です。この場合「オート」は英語の「オートモービル」（自動車）の略なんですね。

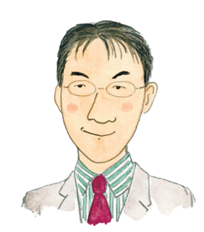
店などの看板には、すぐには分からないカタカナ名前のものがあります。

「〇〇ケンネル」はどうでしょう。辞書で引くと「犬小屋」とあります。でも、犬小屋を売っているわけではありません。ペットショップの場合が多いですね。ほかには、ペットのトリミングをする（毛をかる）サロンの場合もあります。

「〇〇エステート」というのもあります。ふたたび辞書で引くと、意味は「地所」です（しゃれではありません）。土地をあつかう仕事、不動産業です。「〇〇不動産」よりも国際的な感じをねらったのかも。

もっと身近なのでは「〇〇マート」があります。スーパーマーケットなど、主に食料品店の名前に使われます。「マート」も「マーケット」も、もとは市場の意味です。市場に並んだ新鮮な品物をそのまま運んできた、ということでしょう。今では、コンビニの名前などにもなっていますね。

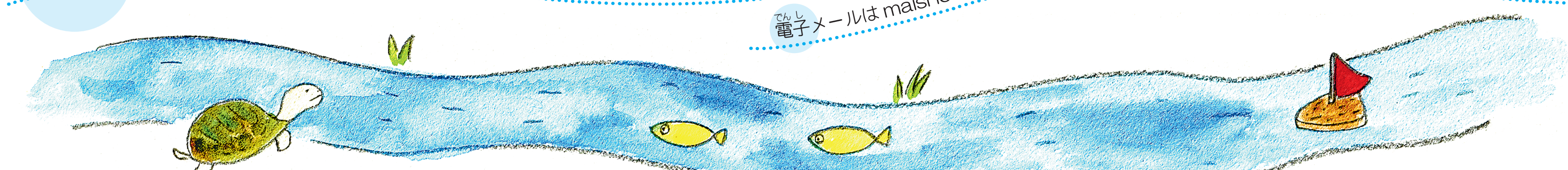
プロフィル



飯間浩明
1967年香川県生まれ。国語辞典編さん者として、ことばを集める毎日。「三省堂国語辞典」編集委員。著書に「ことばハンター」「つまずきやすい日本語」など。

金井真紀
1974年千葉県生まれ。ライター、イラストレーター。たくさんの人に会い話を聞き、作品にしている。著書に「パリのすてきなおじさん」「虫ぎらいはなおるかな？」など。

◇疑問募集◇　ことばの由来や意味など日本語に関する疑問をお待ちしています。はがきに書いて、〒100－8051（住所はいりません）毎日小学生新聞「日本語どんぶらこ」係へお寄せください。電子メールは maishou@mainichi.co.jp。住所、名前、学年、電話番号を書いて送ってください。



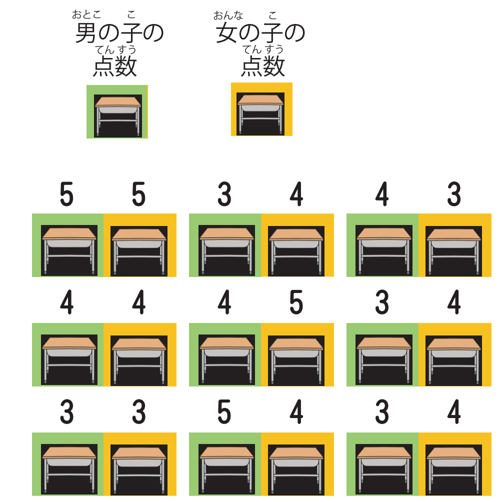
花まる学習会 算数脳パズル なぞぺ〜

何点ちがう？

しゅつだい　花まる学習会　高濱正伸
アクセスしよう！
http://www.hanamarugroup.jp/

問題

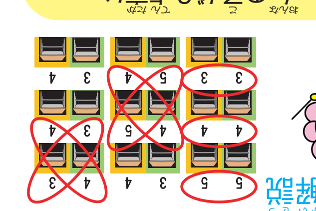
男の子９人、女の子９人のクラスで５点満点のテストをしました。
結果は右の図です。
男の子、女の子の点数の合計はどちらが何点高いでしょうか？
工夫してかぞえましょう！



答えと解説

答え　女の子が２点高い

できるだけ簡単に求める方法を考えましょう。差を求めればよいので、男の子と女の子の点数が同じ場所を探して消すところから考えましょう。まるがついていないところだけ数えて、差を求めましょう。



第521回

◆哲学カフェは、一つだけの正解がない問いを語り合う哲学対話です。

なぜ小学生は宿題をしないといけないのか（長野県、小５）

大人になっても続く

宿題が嫌いなきみに、とても残念なお知らせがあるよ。宿題は中学校に行っても、高校に行っても、大学に行っても、大人になってもずっと続くよ。私は宿題の提出期限を守らないで怒られたりもして、宿題がもっと嫌いになったよ。

なんで宿題ってこんなに面白くないのだろうね。宿題をやらないで済む方法は何だろう。学校や会社をやめて、自分の好きなことだけをやって生きていくことかな。もし学校をやめたら、きみは毎日何をしていたいかな。私は小学校、中学校、高校、大学、大学院に行っても自分が何をしたいのかよくわからなくて、ずっと大量の宿題をこなしていたよ。全部の学校を卒業して、大人になってからやっと自分が何をして生きていきたいかわかってきたよ。もしきみが一生やり続けたい何かを見つけて、自分にとって宿題をやるよりも大事なことが見つかったら、宿題よりもそれが大事な理由を周りの人に話してみたらいいかもしれないね。

ワタナベさん

大人に嫌われてもいい

じゃあ、私からは良いお知らせをしようか。宿題は、やらなくても死なないよ。ご飯を食べなかったり寝なかったりすると具合が悪くなるけど、宿題しなくても病気にはならない。だから、学校や塾で出された宿題をしたくないなら、しなくていい。もちろん、やらないと親や先生は怒るだろうし、「将来どうなっても知らないよ」なんて言い出すかもね。でも、怒らせておけばいいじゃないか。

自分の将来は自分のものだ。成績も落ちるかもしれないけど、あなたが勉強したいと思ったとき、宿題が出なくても必要な勉強をすればいい。宿題はせいぜい、教師が生徒におすすめする勉強方法にすぎない。「そんなおすすめは余計なお世話」と思うなら（口に出してそう言わなくてもいいけど）無視しておこう。大人を喜ばせる必要はないし、ほめられる必要もない。大人を心配させていいし、大人に嫌われたっていいんだ。怖いだろうけど、そんなあなたを嫌わない大人もいる。大丈夫だよ。

ゴードさん

イラスト・熊谷理沙

勉強は学校での時間に

子どもは将来、社会を担う人になるのだから、今の社会のあり方を続けるなら、コレコレの勉強をしてほしいと、大人は願うのだね。だから、学校で、一定の内容を教えている。それらのなかには、あなたたち子どもが、将来、どのような人生を送ろうと思っても、どのような社会を作ろうと思っても、必要な知識が含まれているかもしれない。それがどれなのかはよくわからないけど。だから、私は、学校で勉強するのは損ではないよ、と子どもにはいうのだけど、実は、宿題というものには賛成できないんだ。実際に、世界には、学校に宿題を出すことを禁じている国もある。それは、大人にとって家庭で残業するのと同じで、勉強は学校での時間で終わらせるべきだと思う。

私は、学校が終わったら、友だちと遊んだり、家族と過ごしたり、近所の人たちとスポーツしたり、お祭りの準備をしたりしてほしいと思う。人生は勉強ばかりだと思うと、価値観も生活の幅も狭くなる。

コーノさん

あなたの考えや問い

ここで取り上げてほしい問いや、質問に対してあなたが考えたことを送ってください。あて先は〒100－8051（住所不要）毎日小学生新聞編集部「哲学カフェ」係かメールmaishou@mainichi.co.jp

今日の筆者

■ワタナベさん…渡辺文
動物と人間と無限について考えることが好き。趣味は歌うことと、きれいな光や色を見つめること。２歳の娘と生活をしながら世界を学び直している。

■ゴードさん…神戸和佳子
口癖は「そもそも」。何事も納得いくまで考えたい。たいてい笑っているけど、嫌なことをされたらすごく怒る。大人のための学校の哲学の先生。長野県立大講師。

■コーノさん…河野哲也
心とからだの関係に関心がある。子どもと哲学の話し合いをするのが楽しみ。帆船とイヌが大好きで、海の近くに住んでいる。立教大教授。